



美しい日本

殷 春 林

YIN CHUN LIN

二年半前、私は研修生として日本へやってきました。中国から日本へ来る時、飛行機の窓から眺めた景色は、家や畑などがきれいに並んでいました。初めて感じた日本の印象は「美しい国」でした。日本の美しさは景観だけではなく、人も美しいと思っています。それは姿形ではなく、日本人が持つ心です。

私が勤めている会社で、人生忘れられないある出来事がありました。ある日、三才になる社長さんのお孫さんが、私達の寮に遊びに来ました。私はかわいさのあまり、その子に包み紙をむいて餡をあげました。普通は餡をもらったら「ありがとう」のひと言で終わりだと思うのですが、その子はちょっと違いました。私の手からその包み紙を奪い取り、自分でゴミ箱を探して捨てたのでした。私はその行動にとっても感心してしまいました。まだたった三才の子供であるにも係らず、そうした意識を持っているのは、とても素晴らしいことだと思いました。それと同時に私は自分のことを恥じました。そしてその出来事をきっかけに、私の心は変わり始めました。いつも一緒に仕事をしている日本人の日常生活の中から、多くのことを学びたいという意識を持ち始めたのです。

日本人からすると何気ないことですが、私達中国人からすればとても新鮮なことが、日本にはたくさんあります。例えば「物を渡す時は片

手を添えて渡す」そこには相手や物に対して、大切に思う気持ちが込められています。また「話をしたり聞いたりする時は、相手の目をしっかりと見ること」そうすることで相手との意思の疎通がうまく行きます。「ゴミを捨てる時は丁寧に分別すること」それによってゴミを再利用できたり、ゴミを効率的に処分できたりします。こうしたことが生活の至るところで見受けられます。また外に出ると、日本の運転手は必要以上にクラクションを鳴らさないため、道路は中国に比べてとても静かです。これは周囲や環境を思いやる日本人の良い習慣だと思います。これらの美しい心が、この美しい国を作りあげているのだと分かりました。このように、世界の人々が、他人を思いやることができれば、世界はもっともっと美しくなれると思います。

私は今年の夏、三年間の研修・実習生活を終えて帰国します。そして私自身が身に付けた「美しい心」を持ち帰り、家族や友人などに伝えていきたいと思っています。こうした貴重な経験ができたことは、私にとって人生の宝になりました。今は私を支えてくれた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

- ・区分 技能実習生
- ・国籍 中国
- ・職種 婦人子供服製造
- ・受入れ企業 有限会社広瀬縫製
- ・受入れ団体 PNJ 事業協同組合